

## やまがた創生の基盤、奥羽・羽越新幹線の早期実現を目指して

### 1 取組みの概要

本県を通るフル規格新幹線の計画として、昭和 48 年に政府の基本計画に位置付けられた「奥羽新幹線」(福島～秋田間)、「羽越新幹線」(富山～青森間)という、2つの新幹線路線があります。

県では、本県の将来にわたる持続的な発展のため、さらには国を挙げて取り組んでいる地方創生の実現や災害に強い国土の実現などの観点から、両新幹線の早期実現に向けた取組みを進めています。

フル規格新幹線の実現に向けては、県民一人ひとりの思いを高め、その必要性和県民の熱意をしっかりと政府等に伝えていくことが重要です。このため、平成 28 年 5 月に、県、県内市町村、経済界等の参画のもと、「オール山形」体制の推進組織「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」を立ち上げ、この同盟を運動の中核として、シンポジウムやセミナーの開催、新聞・フリーペーパーなどの多様な媒体を活用した広報・啓発、地域が一丸となった政府等への要望活動などに取り組んでいるところです。

また、関係する沿線県とも連携して、シンポジウム開催や要望活動の実施、さらに、平成 29 年 8 月から、プロジェクトチームを立ち上げ、両新幹線の整備効果や実現に向けた課題等の調査・検討に着手するなど、広域的な運動も進めています。今後も、両新幹線の一日も早い実現に向けて、県内及び沿線県の関係者の方々と連携しながら、着実に取組みを進めていきます。

### 2 担当職員へのインタビュー

総合交通政策課

鉄道・生活交通担当

主査 武田 真悟

【採用職種:行政】



#### Q 現在の担当業務を教えてください

奥羽・羽越新幹線の早期実現に向けて、県内の市町村、経済団体等で組織する同盟会の活動に関する事務などに従事しています。

具体的には、同盟会における取組み内容等を協議する理事会の開催や、県民や県内の各団体の皆さんに両新幹線の必要性などを広くお伝えするためのセミナー・シンポジウム等の開催、新聞・ポスターなどを活用した普及・啓発事業の実施、政府等に対する要望活動の実施、こうしたことに伴う関係機関との調整などを行っています。

#### Q 皆さんへのメッセージをお願いします！

県職員の仕事は、県民の皆さんの生活と様々な場面で関わっているため、その業務は本当に多種多様です。ただ、どんな業務に携わるにせよ、全ての業務が、県民の皆さんの幸福、県全体の発展につながっていくものであり、常に「山形のことをよくしたい」という熱い思いを持ち、そのために「何ができるのか」を日々考えながら業務に当たることがとても大事であると考えています。

「山形のことを良くしたい」という熱い思いを持った方と、ぜひ一緒に仕事をしたいと思えます。

#### Q 仕事のやりがい・魅力は何ですか？

フル規格新幹線の整備は、大変大きな国家プロジェクトであり、様々なステップを乗り越えていく必要があります。その実現は、短期間のうちに成しえるものではないかもしれません。

しかし、本県を担っていく子どもたちや、将来、本県で暮らしていく次の世代の県民の皆さんのためにも、フル規格新幹線の一日も早い実現に向けて、しっかりと取組みを前に進めていかなければならないと考えています。

県の将来にもかかわる非常に大きな仕事に携われることは、重い責任がありますが、奥羽・羽越新幹線の実現に一步でも半歩でもつながるよう、日々新しいことを考えながら取り組めることにやりがいも感じています。

